



市内41施設を光ファイバーで結ぶ 地域イントラネット

超高速の地域公共ネットワークを構築

できる情報端末を、市役所、各支所、中央公民館、カルム五條（保健福祉センター）、賀名生の里・歴史民俗資料館、ふれあい交流館の7か所に設置しました。



情報端末

また、学校間コミュニケーションシステムや生涯学習システムでは、市内14小中学校にテレビ会議システムを設置し、テレビの映像や音声によって児童生徒間での学習交流が行えるようになり、複数校の教師の会議・教育相談・生徒指導等の活用も可能

まず、行政情報システムでは、五條市のホームページのコンテンツ（中身・内容）を充実しました。五條市では、これまでも市の業務手続きやイベント案内等、タイムリーな情報をホームページで提供してきましたが、高齢者や視覚障害者が見やすいように文字の拡大や音声による情報発信を行い、「ライブカメラ」というコンテンツでは、防災情報システムとして、吉野川・熊野川付近の4か所にカメラを設置し、各家庭のインターネット上から台風等の状況をリアルタイムで監視できるシステムを設置しました。また、画面にタッチするだけで行政情報を知ることができる情報端末を、市役所、各支所、中央公民館、カルム五條（保健福祉センター）、賀名生の里・歴史民俗資料館、ふれあい交流館の7か所に設置しました。

その他、合併前に、「合併すれば、市役所本庁職員と相談したいと思っても距離が遠い」といった声がありました。窓口相談システムとして、映像と音声・文字情報によって、各支所から本庁窓口職員と行政相談が行えるシステムも開設しました。

といった5つのシステムから構築されています。

- 行政情報システム
- 窓口相談システム
- 防災情報システム
- 学校間コミュニケーションシステム
- 生涯学習システム

昨年9月25日の市村合併によって旧市の面積の約3倍の広さになった新市内の情報格差を是正し、情報伝達の迅速化を目指す。このほど、市役所を含めた市の主要施設や学校間を光ファイバー*1で接続する超高速の地域公共ネットワークが構築され、「五條市地域イントラネット*2」の運用が始まりました。これは、総務省が提唱する「全国プロードバンド*3構想」の趣旨に沿った事業で、

